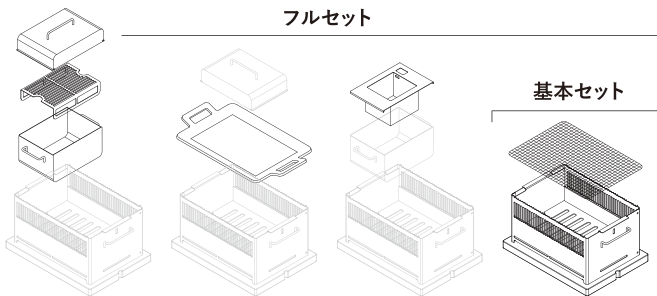


# + Base

アウトドア料理を手軽に、多彩に

アウトドア料理を手軽に、多彩に。

「+Base」は「網焼・串焼・鉄板焼・鍋・蒸し・燻製・熱燗」ができるオールインワン炭焼き器です。卓上に置けるコンパクトなモジュール構造とお手入れしやすい機能的デザインによって、キャンプはもちろん庭先でも手軽に使うことができます。普段とは一味違った、贅沢なアウトドア体験を提供してくれるアイテムです。是非マクアケページから詳細をご確認ください。



## 【オールインワン炭焼き器】

串焼・網焼・鉄板焼・鍋・蒸し・燻製・熱燗などこだわりの調理を一台で行えます。

## 【A4サイズのコンパクト設計】

卓上に置けるコンパクトなモジュール構造で機能性・収納性・可搬性に優れます。

## 【1人でもグループでも】

ソロキャンプでも、複数人のアクティビティでも、手軽に贅沢な時間を過ごせます。

w300×d285×h150(mm) / 1.98kg / ステンレス・アルミ(一部)

マクアケにて詳細を公開中です!



Makuake



プレスキットはこちら!



Hayano kenko  
有限会社早野研工

TEL 0584-89-6598  
<https://hayanokenko.co.jp/shop/>



AICHI DESIGN VISION



1台7役の炭焼き器



次は誰と何をつくる？





# MINIMALIZE GEARS

チャンネル登録者数10,000人を超える人気アウトドア系Youtuber「minimalize gears」の「CAMP たかにい」様に製品をご使用いただきました。Youtube動画で活用シーンをご覧ください。

## 「CAMP たかにい」様インタビュー

### 「+Base」1つで色んな調理ができるのがおもしろい!

熱燗、おでん、鉄板焼き、焼き鳥…いろいろできておもしろいですね。これ1つあるといろんな遊びができる! お得感がすごい! 特に野燗炉を使っての熱燗は絶妙な温度が保たれて最高でした。

### こだわりのフォルムが良い!

串焼き用の溝や鍋の形に機能的なこだわりを感じます。こだわりのディテールが好きです。友達受けもよさそうだし写真映えもします。

### コンパクトなのに複数人でも楽しめる!

本体はコンパクトなのに、複数人で色んな料理が楽しめるところが魅力的です。ソロキャンプでも、友達・家族でのキャンプでも使えますと思います。

### 最後に…

「+Base」を制作している早野研工さんが僕の地元の企業と聞き驚きました。地元でこのような面白い製品を開発している企業があるとは知らなかったです。今後も魅力的な製品をどんどん世に出してほしいです!



+Baseを使ってみた感想



ソロキャンプ用だよな?と思わせるコンパクトなサイズ



+Baseを使ってみた感想

敷板を装備すれば、どんなテーブルの上でも焼き鳥ができる。



コレ作った人、絶対キャンプ好きでしょ!



+Baseを使ってみた感想



鍋のフタのフォルムは見ていてテンションがあがるんですね。



野燗炉はかなり珍しい



本体に色々収納できそう!

YouTube



## ■開発の経緯

# まずは作ってみて考える。町工場×デザイナーの試行錯誤

昨年、焼き火台「Fire Base」が大きな注目を浴びました。次に続く新商品を望む声を多く受けながらも、FireBaseに並びHotCampという自社ブランドを確立させるような製品と考えると、どれも決定打に欠け開発に行き詰まっていた。

古くは平安時代から伝わる野燗炉という道具を現代版にアレンジできないか… そう思い立ち、作ってはみたものの、「何だかなあ」の出来でした。(試作1号)

試作1号



野燗炉..

平安時代から江戸時代にかけて使われたもので、容器に水を張り炭で温め、その中にとっくりを入れお酒を温める。昔の人はこれを使ってお花見や屋外でのお酒を楽しんだ。

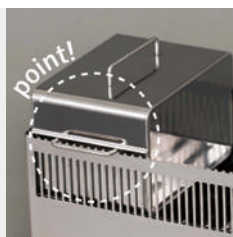
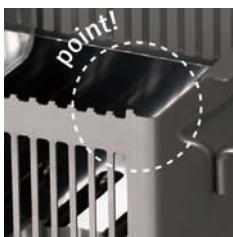
そんな中、東海地方のものづくりを応援する、デザイナーとのコラボレーションプロジェクト※を知りました。“作ることはできる”町工場と、“デザインのカでモノづくり企業を応援したい”デザイナーの思いは一致しました。今回協働したデザイナーさんは、地方の企業や地場産業と連携したものづくりの経験があり、デザイナーの自己満足のためのモノづくりではなく、作り手が愛着を持って育てていけるような商品開発がしたいと考えていました。ここから約半年で製品を完成させるプロジェクトが始まります。

※(株)AMNが主催するAICHI DESIGN VISION



## 欲張りアウトドアギアへ

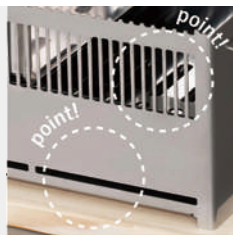
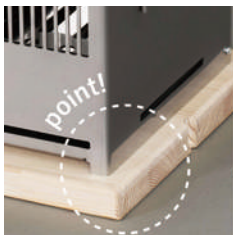
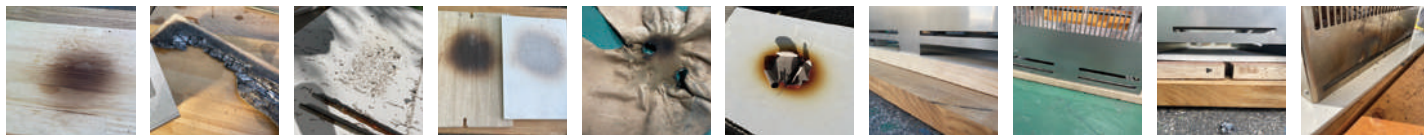
ターニングポイントになったのは、“現代のアウトドアにおいて「野燗炉」単体の機能を求めている人はどれだけいるだろうか。ニューノーマルな暮らしの中で、楽しみ方が多様化し、少人数で気軽にアウトドアをする人も増えている。多様なパーツをモジュール式に取り換えられる炭焼き器を作れば、その人に最適なアウトドア体験を提供できるのではないだろうか?”というデザイナーの着眼点でした。ここから商品開発が加速しました。



端面に凹凸をつけて  
串や網、鍋、極厚プレートが固定できるように

## 敷板が燃えている

プロジェクト最大の課題はテーブルなどの上に置くために用意した敷板が燃えてしまうことでした。通常は地面に設置する炭焼き器を卓上に置けるようになる過程は非常に困難で何度も試作検証を重ねました。本体を持ち上げたり、通気口を開けてみたり、下に敷く素材を石膏ボードや金属に変更したり、思いつく限りの方法試してみました。最終的には、通気口の調整と遮熱版の追加によって燃えにくい構造を発見し、ようやく製品が完成しました。



「敷板」+「通気口・遮熱版」で  
熱効率よく、テーブルへのダメージを防ぐ

## 「ギフト・ショー2022」新製品コンテスト【準大賞】を受賞!

「+Base」は今年も「東京国際ギフト・ショー2022 春」の新製品コンテストにて【準大賞】を受賞しました。昨年グランプリを受賞した時は、「まぐれ」「たまたま」そんな言葉が飛び交っていました。私たち自身もそう思っていました。しかし今回の受賞で、有識者の方に、「早野さんは技術力が凄いですね。これを見ているととてもワクワクしてきます」と仰っていただいたことが印象的でした。私達の原点は自分達の技術が何かの役に立てないか。皆様の心や時間が豊かになる生活を直接お届けできるものを創りたい。私達の商品にはそんな想いが込められています。